

平成30年度 第3回木津川市行財政改革推進委員会

会議次第

日時：平成30年11月15日（木）午後2時～

場所：木津川市役所3階 3-1、3-4会議室

1. 開会

2. 議事

（1）委員会活動に係る検討について（審議）

3. その他

4. 閉会

＜配付資料＞

議事（1）関係

資料1-1 「行財政改革行動計画の進捗状況」に対する外部評価の実施（案）について

資料1-2 「第3次行財政改革行動計画（2018～2022年度）の進捗状況」に対する外部評価 実施イメージ（案）

資料1-3 第3次行財政改革行動計画項目一覧（外部評価絞り込み用）

資料1-4 外部評価調査票（案・例）

資料1-5 外部評価シート（案・例）

参考資料

参考資料1 平成30年度委員会スケジュール（案）

**「行財政改革行動計画の進捗状況」に対する
外部評価の実施（案）について**

木津川市行財政改革推進委員会事務局

○前回（H30.10.10）までの審議経過（主な指示事項等）

- ・平成 31 年度からの新たな委員会活動として、「第 3 次木津川市行財政改革行動計画」の外部評価を検討する。
- ・外部評価の実施に向け、全項目（策定当初 102 項目）を対象とすることは困難であり、一定の選定作業が必要である。そのための情報収集も必要である。
例）「各項目における目標値の確認」、「事務事業と施策等に係るものとの区分」、「（検討・実施・集約）区分の整理」など。
- ・外部評価のため、4 つの視点での事前確認を行う。
 - 【有効性】（項目内容を達成できたか。その内容は有効であるか。）
 - 【効率性】（費用対効果「必要経費や効率性など」は。）
 - 【市民満足度】（「結果（内容）」は市民にとって望ましいものか。）
 - 【適切なプロセス】（手順等は適切であったか。）
- ・項目内容に応じて、「定量評価」と「定性評価」による手法を検討する。

○外部評価実施（案）の概要＜詳細は次項～＞

- ・毎年、市において実施される「第 3 次行財政改革行動計画の進捗状況（内部評価）」に対し、特に必要と考えられる項目を選定し、当委員会による外部評価を実施する。
- ・本外部評価は、年度単位ではなく、「第 3 次行財政改革行動計画」の計画期間中（2018 ～2022 年度【5 年間】）において一体的に実施することとし、評価結果（報告書）は全ての項目に対する外部評価を終了した後にまとめることとする。
ただし、速やかに市長へ報告することで、その後の市行財政改革の行動に寄与すると考えられるものについては、適宜、中間報告等を行う。
- ・本委員会の活動予定として、2022 年度は次期行革大綱（2023 年度～）に係る年間を通じた重要な審議（市長からの諮問事項に対する答申）が見込まれるとともに、外部評価の結果等を次期行革大綱の策定方針等へ反映させることも鑑み、評価結果（報告書）は、2021 年度（計画 4 年度目）の最終委員会でまとめ、市長へ報告する。

○外部評価の実施方法（詳細案）

1. 外部評価実施項目の選定【第4回委員会（年度最終）】

- 各年度の最終開催回（第4回委員会予定）に、次年度の評価（ヒアリング）対象項目（4項目程度）を選定。

（対象項目選定方法）

- ・選定実施時における行動計画項目一覧（策定当初102項目）を、いくつかの種別に分類して検討を進める。

＜行動計画項目の分類における主たる考え方＞

- ①下記③以外のうち、「『実施』及び当該年度末にて検討が終了するもの」など。【21項目】
- ②下記③以外のうち、「当該年度の翌年度以降まで『検討』のもの」など。【22項目】
- ③「集約項目」、「内部事務事業（特に手法等の検討を要するものを除く）」、「情報発信事業」、「一部事務組合に関するもの」、「市民サービス事業のうち廃止決定されたもの」・「ハード事業で新技術等に転換するもの」・「別に定めた計画等に基づき実施するもの」など。【59項目】

＜外部評価における考え方＞

- ・市が行った評価（内部）に対し、「有効性」、「効率性」、「市民満足度」、「適切なプロセス」の4項目の確認及び評価を基軸とし、選定項目の進捗状況（実施・検討など）に応じて、「定量」及び「定性」といった幅広い観点からの外部評価を行う。

例）具体的な目標設定や達成状況等を数値等で確認できるもの・・・「定量評価」

検討中の項目や達成プロセス等について確認するもの・・・「定性評価」

- ・各委員が、それぞれ項目ごとの「外部評価シート」を作成し、それをとりまとめるための委員会審議を経たものを、「外部評価結果（報告書）」とする。

（所管課ヒアリング実施概要）

- ・1項目に対して説明時間を含め45分（目安：10分説明+質疑等35分）。

※1委員会（全体約120分）で2項目程度実施可能（2項目×2委員会+予備）。

実質3年度間で、最終的に12項目程度（4項目程度×3年度）の評価実施可能。

- 選定項目所管課に対して、次回委員会までに「調査票」の作成・提出を依頼。

2. 「第3次行革行動計画」の進捗状況（市評価）の報告【第1回委員会（年度当初）】

- 市が決定（評価）した「第3次行革行動計画」進捗状況の報告。
 - ⇒全体的な内容確認、意見、新規追加項目の確認等の実施。
- 提出された「調査票」の内容、追加指示事項等の確認。（全選定項目分）
 - ⇒円滑なヒアリング実施のため、数値確認や資料整理等については、できる限り事前の追加指示事項等として示し、原則、当該項目のヒアリング時に対応。

3. 評価項目に対する所管課ヒアリング①②【第2～3回委員会（予備：第4回委員会等）】

- 1委員会において2項目程度（1項目説明込45分）を実施。
 - ・市説明員として、所管部課長等の出席を依頼。
- 所管課ヒアリング終了後、該当項目の「外部評価シート」を作成。
 - ・当日、又は後日（概ね2週間程度）に事務局へ提出。

※外部評価結果（中間報告等）報告書の事前調整

- 評価項目に対し、当該年度中に市長に対する報告（中間報告等）が必要と考えられる項目がある場合、次回委員会での審議に向けた事前調整。

4. 外部評価実施項目の選定【第4回委員会（年度最終）】（※ 1.と同様）

- 各年度の最終開催回（第4回委員会予定）に、次年度の評価（ヒアリング）対象項目（4項目程度）を選定。
- 次回委員会までに、選定項目所管課に対して「調査票」の作成・提出を依頼。

※外部評価結果（中間報告等）報告書の作成・報告

- 評価項目に対し、当該年度中に市長に対する報告（中間報告等）が必要と考えられる項目がある場合、報告書を作成し、市長へ報告。

＜～2021年度の「所管課ヒアリング②」（第3回委員会）まで同様の流れ＞

5. 外部評価結果報告に係る事前調整【2021 年度 第 3 回委員会】

- 所管課ヒアリング終了後、該当項目の「外部評価シート」を作成。
 - ・当日、又は後日（概ね 2 週間程度）に事務局へ提出。（※最終）
- 当該年度の所管課ヒアリング終了後、報告書作成（次回委員会）に係る事前調整。

6. 外部評価結果報告書の作成・報告【2021 年度 第 4 回委員会】

- 外部評価結果報告書（案）の審議・報告書決定。
 - ・報告書には、外部評価対象項目に係る評価結果や意見等について記載。
 - ・報告書決定後（当日又は後日）、委員会（会長名）から市長へ提出。

<2022 年度の委員会は、次期行革大綱（2023 年度～）の審議を主とする活動予定>

「第3次行財政改革行動計画(2018～2022年度)の進捗状況」に対する外部評価 実施イメージ(案)



■第3次行財政改革行動計画項目一覧(外部評価絞り込み用)

No	大No	重点改 革項目	小No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考	
(分類後①(21項目)) ※実施及びH30年度末検討終了項目。																		
1	1	協働の市政の推進	①	市民との協働によるまちづくり	市民協働の推進	■実施	市民、コミュニティ組織、NPO、企業等との連携・協働手法を調査・研究します。また、市民提案型事業支援制度である「ふるさと応援事業補助金」は、平成31(2019)年度に終了することから、市民参加に関する支援手法等を検討します。	学研企画課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)							※2019年度で補助金終了(H29実績:20,573千円)	補助金事業 (法人・団体) ※市民協働事業の検討	【主な指標等(H29実績)】 13者・団体
4		協働の市政の推進	①	市民との協働によるまちづくり	都市公園等の市民自 主管理	■実施	多様な要望への対応や維持管理経費の縮減を目標とした木津川市都市公園・緑地施設等市民自主管理活動支援要綱に基づく自 主管理活動を推進するため、啓発・募集活動を行うとともに、活動 団体の育成や組織維持のための施策を検討します。	管理課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)								交付金事業 (法人・団体)	【主な指標等(H29実績)】 23箇所
18		行財政運営体制の改革	④	総人件費の抑制	時間外勤務手当の抑制	■実施	職員の健康維持、人件費の抑制の観点から、管理職を始めとする職員の認識を高め、時間外勤務手当の縮減を目指します。	人事秘書課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)								内部事務事業 ※手法等の検討要	【主な指標等(H29実績)】 99.9時間
24	2	行財政運営体制の改革	⑦	地方債・借入金・公金の適正管理	公金の適正管理	■実施	木津川市公金管理運用基準及び会計事務規則に沿った運用により、公金の安全性確保を図るとともに、債権(国債・地方債など)での運用を研究し、預金等での運用を図ります。	会計課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)								内部事務事業 ※手法等の検討要	【主な指標等(H29実績)】 3,920千円 ※H30効果額見込(1,817千円)
25		行財政運営体制の改革	⑦	地方債・借入金・公金の適正管理	地方債の適正管理	■実施	単年度あたりの元利償還額の大きい市債について、繰上償還や、償還期間より交付税算入期間が短い市債の算入期間中における償還額を増額する償還条件の変更、基金の計画的な活用を行うことで、一般財源負担の軽減と平準化を図ります。	財政課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)						※2018年度実施→2019年度以降、約3,000万円/年の差額	内部事務事業 ※手法等の検討要		
28		事務事業の見直し	①	コミュニティバスの利用促進	コミュニティバスの利用促進	■実施	コミュニティバス実証運行事業について、これまでの年間利用者数や地域公共交通網形成計画に定める平成31(2019)年度の目標指標達成のため、地域公共交通総合連携協議会とともに、路線や運行ダイヤ及び運行形態について検討します。	学研企画課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)						2019年度に30万人	市民サービス事業 ※審議会等 ・木津川市地域公共交通総合連携協議会	【主な指標等(H29実績)】 261,357人 ※関係審議会等 ・木津川市地域公共交通総合連携協議会	
29		事務事業の見直し	①	観光振興事業の見直し	観光振興事業の見直し	■実施	観光振興における課題を整理し、関係団体と相互に連携し、ターゲットに基づいた観光施策を展開します。	観光商工課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)						2018年度に2件	市民サービス事業	【主な指標等(H29実績)】 1件	
44	3	事務事業の見直し	①	生活保護の適正化	生活保護の適正化	■実施	生活保護の適正化を行うため、就労可能な被保護者に対し就労自立促進・就労支援・就労準備支援など対象者に応じた適切な就労ができるよう相談及び支援を推進します。また、不正受給対策及び医療扶助の適正化に取り組みます。	くらしサポート課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)								市民サービス事業	【主な指標等(H29実績)】 55人
52		事務事業の見直し	②	図書館運営の見直し	図書館運営の見直し	□検討	図書館運営のあり方を見直し、利用の多い木津西部方面をはじめ、市全体における業務効率を高めるため、奈良市との連携を進め、平成30年度後半より『奈良市立北部図書館』の利用開始を目指し、図書館の運営と利用サービスの充実を図ります。	社会教育課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)	○							市民サービス事業 ※審議会等 ・木津川市立図書館協議会	※関係審議会等 ・木津川市立図書館協議会
58		事務事業の見直し	②	補助金等・団体支援の見直し	実行組合活動補助金の見直し	■実施	合併前の旧3町で実行組合の活動内容に差があり、合併後に業務内容については整理されたが、補助金については経過措置を設けて現在調整中。2022年度を目途に整理できる見込み。	農政課	検討年度 評価 主な指標等 効果額(千円)						2022年度に319千円(段階的)	補助金事業 (法人・団体)	【主な指標等(H29実績)】 448千円	

■第3次行財政改革行動計画項目一覧(外部評価絞り込み用)

No	大No	重点改 革項目	小 No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考						
59	3	事務事 業の見 直し	② 補助金 等・団体 支援の 見直し	行政地域制度関連補 助金の見直し	□ 検討	地域活動支援交付金について、平成31(2019)年度改正にむけて、交付金額及び交付対象事業の見直しを検討します。集会所整備等事業補助金について、平成31(2019)年度改正にむけて、補助金対象事業の見直し、補助金対象事業費の下限額の設定等を検討します。		総務課	検討年度	○						※2019年度 まで段階的 削減	補助金事業 (法人・団体)	【主な指標等(H29実績)】 2,273千円 ※2017:均等割1万円、世帯割100円 2018:均等割1.5万円、世帯割80円 2019~:均等割2万円、世帯割50円					
60						災害発生の際にその機能を十分に発揮できるよう自主防災組織等の活動の促進を図るため、各自主防災組織に対し助成金を交付しているが、持続可能な助成事業を継続させるため、段階的に助成金の見直しを実施します。			評価														
61					福祉医療費(障 害者)助成事業の見 直し	□ 検討	福祉医療費(障害者)助成制度について、市上乗せ分の支給対象範囲や所得基準のあり方を検討します。		国保年 金課	主な 指標等	助成金支出額(千円)								※H30年第3回(9月)市議会で関係条例の一部改正可決。 ⇒H31.8.1以降、全対象者に府所得制限を適用。(約4,800千円削減見込)				
62							重度心身障害老人健 康管理事業の見直し			効果額 (千円)	(H29年度~当該年度)助成金額								※No61「福祉医療費(障害者)助成事業の見直し」と同内容で、要綱改正。(H30.9.28告示)(約1,320千円削減見込)				
64					外郭団 体の見 直し	□ 検討	市とシルバー人材センターとの関係のあり方について整理し、今後の方向性・改善案を検討します。また、これに基づき、補助金等の適正化、経営改善の支援策などについて協議を行います。		高齢介 護課	検討年度	○												
67	4	公共施 設の総 合管理	①	公共施 設のマネ ジメント			平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画に基づく施設類型別の個別施設計画を策定し、計画期間における当初10年間で対策が必要な施設ごとに長寿寿命化・集約化・複合化・廃止といった方針を定め、計画の実行・推進によって財政負担の軽減を図ります。		財政課	評価						市民サービス事業 ※審議会等あり ※関連計画 ・木津川市公共施設等総合管理計画(H29.3策定)	団体支援事業	※関係審議会等 ・木津川市行財政改革推進委員会 ※関連計画 ・木津川市公共施設等総合管理計画(H29.3策定)					
75	5	行財政 システムの確 立	① 歳入の 確保と歳 出の抑 制	ふるさと納税の増強	■ 実施	ふるさと納税ポータルサイト(ふるさとチョイス)による申込みや、クレジット納税に引き続き取り組むとともに、魅力ある地域特産物などの記念品を強化し、ふるさと納税の充実に向けた効果的な取り組みの調査研究を進めます。また、記念品送付や事業者への発注業務を委託することで、経費の削減を図ります。		学研企 画課	主な 指標等	ふるさと納税寄附件数(件)					2020年度に 500件	歳入増加対策事業	【主な指標等(H29実績)】 392件						
76						企業誘致の促進			効果額 (千円)	当該年度のふるさと応援寄附額								【主な指標等(H29実績)】 4社					
78					未利用、低利用資 産の有効活用	■ 実施	利用計画のない市有財産(土地、備品)のうち、売却が見込めるものについては入札等による売払いを進めます。また、事業予定地や売却予定地の短期貸付、行政財産の有料広告募集など、収入確保に向けてさまざまな取組を進めます。		財政課	検討年度						2022年度ま でに12社	歳入増加対策事業	歳入増加対策事業	歳入増加対策事業				
85							市道への有料広告の導入			評価													

No	大No	重点改 革項目	小No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考
87	5	行財政 システムの確 立	①	歳入の 確保と歳 出の抑 制	公民館講座（受益者 負担）の見直し	検討	従来から無償としていた受講料（講座材料費は徴収）について、受益者負担のあり方を検討します。	社会教 育課	検討年度 ○ 評価						主な 指標等	効果額 (千円)	歳入増加対策事業

No	大No	重点改 革項目	小No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考	
(分類後②(22項目)) ※H31(2019)年度以降まで検討項目。																		
34					選挙事務の効率化	□ 検討	選挙事務の効率化及び執行経費の削減のため、選挙人の投票機会の確保及び利便性の向上を図りつつ、期日前投票所設置期間・時間等の見直しを引き続き検討します。	総務課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ○						市民サービス事業 ※審議会等 ・木津川市選挙管理委員会		
42					窓口業務外部委託の検討	□ 検討	市民課を含むさまざまな庁内窓口業務を外部委託することで、財政効果を上げている自治体がある。人口規模や庁舎の形態等にも関係するが、当市の状況と比較して一定財政効果が見込めるか、かつ市民サービスにつながる便利な窓口となるか、市民課窓口業務について近隣の先進地自治体を調査します。	市民課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ○						市民サービス事業		
45			①	事務事 業の見 直し	乳幼児相談・健診等 の効果的な実施	□ 検討	各地域での対象児の変化等を踏まえ、乳幼児相談・健診等の有効な実施方法を検討します。	健康推 進課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ⇒	⇒ ○					市民サービス事業		
53			3	事務事 業の見 直し	高齢者教育事業の見 直し	□ 検討	平成29年度に整理した内容(6事業から4事業に再編)に基づき、当面の間は現行のとおり事業を実施しながら、この間の実績等を分析して再度事業見直しを検討します。	社会教 育課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ⇒	○					市民サービス事業		
57			②	補助金 等・団体 支援の 見直し	商工会補助金の見直 し	□ 検討	商工会の業務と補助金のあり方について検討し、業務の空洞化を招かないよう留意した補助金の削減に取り組みます。	観光商 工課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ○						補助金事業 (法人・団体)		
63					外郭団体の見直し (社会福祉協議会)	□ 検討	市と社会福祉協議会との関係のあり方について整理し、今後の報告性・改善案を検討します。また、法人監査を実施するとともに、委託料・補助金等の適正化、経営改善の支援策などについて引き続き協議を行います。	社会福 祉課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒				団体支援事業		
65			③	外郭団 体の見 直し	外郭団体の見直し (公園都市緑化協 会)	□ 検討	市内の緑化推進を図るため、木津川市公園都市緑化協会の事業内容を精査し、今後の方向性・改善案を検討します。	管理課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒				団体支援事業		
66					外郭団体の見直し (緑と文化・ス ポーツ振興事 業団)	□ 検討	市と緑と文化・スポーツ振興事業団のあり方について整理し、今後の方向性等を検討します。	社会教 育課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒				団体支援事業		
68			①	公共施 設のマネ ジメント	加茂人権センターの改修及び小谷児童館の複合化、小谷児童館・小谷下教育集会所撤去及び跡地利用の検討	□ 検討	加茂人権センターの小谷児童館との複合施設へ向けた改修(2019【H31】年度)、小谷児童館・小谷下教育集会所の撤去解体及び跡地利用(2020【H32】年度)について、担当課・庁内関係部署及び京都府との連携調整、利用者・地元等への説明・協議を総合的に進めます。	人権推 進課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ⇒	○						市民サービス事業	
73			4	公共施 設の総 合管理	放課後児童クラブの運 営方法の検討	□ 検討	公立児童クラブの運営に係る指定管理制度等の検討を行い、事務軽減や人件費の削減を図ります。	こども宝 課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	⇒ ○						市民サービス事業		

No	大No	重点改 革項目	小No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考	
74	4	公共施設の総合管理	②	公共施設の民営化、民間委託	公立幼稚園の民営化及びこども園化等の検討	□ 検討	公立幼稚園の再編及び民営化、認定こども園移行等について検討します。	学校教育課	検討年度 ⇒	⇒	⇒	○				市民サービス事業		
77	5	歳入の確保と歳出の抑制	①	行財政システムの確立	森林公園施設の維持管路経費の見直し	□ 検討	「山城町森林公園」の継続的かつ安定的な運営を行うため、施設の維持管理費用を市の一般財源に頼ることなく、受益者負担や国の森林環境税、府の豊かな森を育てる府民税等を活用できるよう検討します。	農政課	検討年度 ⇒	○						歳入増加対策事業		
79					使用料等の適正化	□ 検討	2019(H31)年10月実施予定の消費税10%への対応も含め、全庁的に適正な受益者負担の設定に向けた検討を行います。	行財政改革推進室	検討年度 ⇒	○						歳入増加対策事業		
83					保育所等利用者負担額の見直し	□ 検討	保育所等利用者負担額は、公立は市が、私立は運営法人が徴収しています。市の基準額は、平成28年度で国基準の保育所等利用者負担額の48.6%となっており、受益者負担の観点から、国基準の70%となるよう見直しを図ります。また、徴収率の向上を引き続き図るとともに、2019(H31)年10月に予定されている保育料無償化の動向にも対応し、2019(H31)年度での改正も検討します。	こども室課	検討年度 ⇒	○							歳入増加対策事業	
84					総合がん検診の見直し	□ 検討	総合がん検診事業について、自己負担額及び免除要件の見直しを検討します。また、国・府等の補助金の活用も含め収入の確保を図ります。	健康推進課	検討年度 ⇒	⇒	⇒	○				歳入増加対策事業		
86					幼稚園バス使用料の見直し	□ 検討	適正な受益者負担の設定に向けて検討を行います。	学校教育課	検討年度 ⇒	○						歳入増加対策事業		
95	⑤	地方公営企業会計、特別会計等の見直し (ア)地方公営企業の改革 (イ)特別会計の見直し (ウ)一部事務組合の改革			特別会計の見直し(国民健康保険事業)	□ 検討	国民健康保険特別会計の安定化のため、毎年度、国民健康保険事業の状況を分析し、計画的に保険税・保険給付等の適正化を図ります。また、負担の公平性を踏まえ人間ドック助成額の見直しを図ります。	国保年金課	検討年度 ⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			市民サービス事業 ※特別会計 ※審議会等あり	※関係審議会等 ・木津川市国民健康保険運営協議会	
96					特別会計の見直し(国民健康保険財源の確保)	□ 検討	国保財政を支える新たな財源として、国の特別調整交付金(保険者努力支援分)の獲得に向け、新たな健康づくり事業等に積極的に取り組むとともに、医療費総額の抑制を図ります。	国保年金課	検討年度 ⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			市民サービス事業 ※特別会計 ※審議会等あり	※関係審議会等 ・木津川市国民健康保険運営協議会	
97					特別会計の見直し(後期高齢者医療事業)	□ 検討	人間ドック助成について、国等補助金の削減や負担の公平性を踏まえ、助成額の見直しを図ります。	国保年金課	検討年度 ⇒	⇒	○					市民サービス事業 ※特別会計		
99					特別会計の見直し(介護保険事業)	□ 検討	介護保険特別会計の安定化のため、毎年度、介護保険事業の状況を分析するとともに、3年毎に介護保険事業計画を見直し、計画的な保険料の適正化を図ります。また、定期的な「木津川市介護保険事業計画等策定委員会」等の開催、保険給付の適正化に取り組みます。	高齢介護課	検討年度 ⇒	⇒	⇒	⇒	⇒				市民サービス事業 ※特別会計 ※審議会等あり	※関係審議会等 ・木津川市介護保険事業計画等策定委員会

■第3次行財政改革行動計画項目一覧(外部評価絞り込み用)

No	大No	重点改革項目	小No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考
101	5	⑤ 行財政システムの確立	⑤ 地方公営企業会計、特別会計等の見直し (ア)地方公営企業の改革 (イ)特別会計の見直し (ウ)一部事務組合の改革	□ 検討	地方公営企業の改革 (下水道事業)		平成30年度において「経営戦略」を策定し、経営基盤の強化、投資の合理化に順次取り組みます。経営基盤の強化では組織体制の見直し、収納率の向上、接続率の向上など、投資の合理化では、効率的な施設整備、老朽施設の更新投資額の平準化などに取り組みます。また、下水道使用料については、「木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会」を開催し審議会に諮問し使用料の適正化を図ります。	下水道課	検討年度	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		市民サービス事業 ※企業会計 ※審議会等あり	※関係審議会等 ・木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会
102									評価								
									主な指標等								
									効果額(千円)								
									検討年度	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		市民サービス事業 ※企業会計 ※審議会等あり	※関係審議会等 ・木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会
									評価								
									主な指標等								
									効果額(千円)								
									水道業務課								

No	大No	重点改 革項目	小No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考
(分類後③(59項目)) ※集約、内部事務など																	
2	協働の 市政の 推進	① 市民との 協働によ るまちづ くり	大学との協働事業の 実施	● 集約	専門的な知見や新たな視点を持って地域貢献を進める大学等との連携・協働事業を推進します。			学研企 画課	検討年度							集約	
3									評価								
5		② 開かれた 市民参 加・参画 の推進	審議会等の公募委員 導入・透明性の向上	● 集約	『木津川市審議会等の設置及び運営等に関する指針』に基づき、審議会等の設置目的及び所掌事項を考慮し、公募委員の導入及び会議の公開を推進します。			人事秘 書課	主な 指標等	大学との協働事業実施件数(件)				2022年度ま でに3件	内部事務事業	【主な指標等(H29実績)】 0件	
6									効果額 (千円)								
7			パブリックコメント 制度の推進	● 集約	市の計画や条例を、案段階で公表し、これに対する意見等を考慮しながら決定する「パブリックコメント制度」を推進します。また、府内における定期的な制度の周知や、対象事業のチェック等に取り組みます。			学研企 画課	検討年度						2022年度に 380万件	情報発信事業	【主な指標等(H29実績)】 3,185,827件
8									評価								
9			広報・ホームページ の充実	■ 実施	市の様々な情報をわかりやすく伝えるため、広報紙・ホームページの内容を充実させるとともに、定期的な職員研修等を実施します。また、ホームページについて『木津川市ウェブアクセシビリティ方針』に基づき情報バリアフリー化に取り組みます。			学研企 画課	主な 指標等	パブリックコメント実施件数(件)							
10									効果額 (千円)								
11	行財政 運営体制の改 革	① 人材育 成の推 進と職 員・組織 の意識 改革	計画に基 づく職員研 修の実施	■ 実施	職員の企画、調整、管理能力と生産性の向上のため、人材育成の観点に立った研修計画を策定します。また、これに基づき各種研修等を計画的に実施します。			人事秘 書課	検討年度						内部事務事業	【主な指標等(H29実績)】 84回	
12									評価								
			職員提案制度の推進	■ 実施	職員の提案を事務事業の創設・改善に繋げる「職員提案制度」を推進します。そのため、職員が提案しやすい環境づくりに取り組みます。			学研企 画課	主な 指標等	職員提案件数(件)							
			文書・例規事務の適 正化及び効率化	■ 実施	文書例規事務の適正化及び効率化を図るために例規立案案等マニュアルを作成・更新します。また、文書主任を中心とした研修会等の開催など文書・例規事務に精通した人材を育成することで法制執務能力の向上及びコンプライアンス体制の推進に取り組みます。			総務課	効果額 (千円)	検討年度					内部事務事業	【主な指標等(H29実績)】 8回	
								評価									
								主な 指標等	研修会等実施回数(回)								
								効果額 (千円)									

■第3次行財政改革行動計画項目一覧(外部評価絞り込み用)

No	大No	重点改革項目	小No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考					
13	行財政運営体制の改革	②組織改革	組織体制の見直し	■実施	政策や施策・事務事業のまとめり、社会の動きに対応した組織編制を推進します。組織編制の見直しにおいては、各事業の進捗状況等に応じた簡素で応答性の高い、効果的かつ効率的な組織機構の構築及び市民から見てわかりやすい組織とします。			学研企画課	検討年度						内部事務事業	内部事務事業	【主な指標等(H29実績)】 34セクション					
14									評価													
15		③定員管理の適正化	定員適正化計画の策定	□検討	今後の行政需要の動向等を勘案しながら、職員数を抑制する方向性のもと、新たな定員適正化計画を策定します。また、策定後は、計画に応じた職員数の適正化及び行政需要の変化、IT化、民間委託、事務事業の共同化の状況等を反映した計画の定期的な見直しに取り組みます。			人事秘書課	主な指標等	課(室)セクション数(セクション)								※関係計画 ・木津川市定員適正化計画(H30年度策定予定【第3次分】)				
16									効果額(千円)													
17									検討年度	⇒	○											
18		④総人件費の抑制	会計年度任用職員の導入	□検討	地方公務員法及び地方自治法の改正により、嘱託・臨時職員の任用や手当等の見直しを行い、会計年度任用職員制度に移行します。			人事秘書課	評価													
19									主な指標等									内部事務事業				
20									効果額(千円)													
21		⑤電子自治体の推進	情報セキュリティの確保	■実施	市が保有する情報資産に関する情報セキュリティを確保するため、「木津川市情報セキュリティポリシー」に基づき、定期的な研修を実施します。また、定期的なシステム監視や監査を実施します。			学研企画課	検討年度						毎年度7回	内部事務事業 ※関係計画 ・木津川市情報セキュリティポリシー(2015改訂)	【主な指標等(H29実績)】 2回 ※2018～2020年度効果額見込(67,697千円/年)					
22									評価													
23									主な指標等	情報セキュリティポリシー説明会実施回数(回)												
24		⑥法令遵守(コンプライアンス)の推進	職員倫理条例・規則、職員に対する不当な働きかけの記録制度の推進	■実施	コンプライアンス体制を確保するため、職員倫理条例・規則、職員に対する不当な働きかけの記録制度を推進します。そのため、定期的な制度の周知や、説明会の開催等に取り組みます。			人事秘書課	効果額(千円)									内部事務事業				
25									検討年度													
26									評価													
27		⑦地方債・借入金・公金の適正管理	会計事務の適正化	■実施	木津川市公金管理運用基準及び会計事務規則に沿った運用により、会計事務の適正化と会計事務規則等の周知徹底を図ります。			会計課	主な指標等	不適正伝票実態調査(回)								内部事務事業				
28									効果額(千円)													

■第3次行財政改革行動計画項目一覧(外部評価絞り込み用)

No	大No	重点改 革項目	小 No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考		
26	① 事務事 業の見 直し	3	3	3	職員出張旅費の見直し	■ 実施	職員の出張旅費について、平成30年度から日当を廃止するとともに、引き続き、適切な支給のあり方について調査・研究します。	人事秘 書課	検討年度						※H30効果額見込(4,568千円)	内部事務事業	※H30効果額見込(4,568千円)		
27						■ 実施			評価										
30					職員駐車場使用料の見直し	■ 実施	職員駐車場として新たに活用する土地の追加も含め、その借地料や維持管理経費等を利用者(職員)で負担するよう、職員駐車場使用料の見直しを行います。		主な 指標等	財政効果額(千円)			※H30効果額見込(3,246千円)						
31						■ 実施			効果額 (千円)	(見直し前一見直し後)H30年度当初予算旅費総額			※H30効果額見込(3,246千円)						
32					ふれあい農園事業の廃止及び民間市民農園の開設支援	■ 実施	開設から25年が経過し、設備等の老朽化や農園の維持管理を現状の経費で実施していくことが困難なため廃止を決定。同事業については、民間で開設することも可能なことから市の遊休農地対策の一環として、民間での開設支援を実施します。	農政課	検討年度						※2018年度 で廃止 =2019年度 以降、0千円	市民サービス事業 (廃止等決定)	【主な指標等(H29実績) 353千円】		
33						■ 実施			評価										
35					公用車の適正配置	■ 実施	本庁公用車の稼働率を55%へ引き上げるため、本庁公用車の稼働率が40%未満又は出先機関の稼働率30%未満の公用車配置を廃止し、稼働率及び業務内容等を考慮しながら公用車適正台数について検討します。また、中型バス(40人乗)を購入した後、経年劣化の状態に応じてマイクロバス(24人乗、28人乗)1台を減車します。	総務課	主な 指標等	市民農園事業充当一般財源(千円)			2018年度に 55%	内部事務事業	【主な指標等(H29実績) 48%】				
36						■ 実施			効果額 (千円)	(H29年度一当該年度)市民農園事業充当一般財源									
37					支所管理運営の効率化	■ 実施	支所の体制縮小化に合わせた管理運営の効率化を図るため、平成30年9月をもって両支所における時間外の宿日直を廃止すると同時に、機械警備業務についても見直します。また、ビジネスフォンの導入や、平成31(2019)年度に向けた加茂支所庁舎周辺の清掃業務の見直し、加茂支所庁舎の改修についての検討に取り組みます。	総務課	検討年度						2019年度に 7,889千円	内部事務事業	【主な指標等(H29実績) 15,678千円】		
38						■ 実施			評価										
33					執務室複合機による印刷費用の削減	■ 実施	職員に対する啓発を行い、不要な印刷(特にカラー印刷)を抑制することにより、コピー料金の削減に取り組み、平成29年度対比でカラー印刷20%(598千円)減、モノクロその他印刷5%(248千円)減を目指します。	総務課	主な 指標等	支所管理事業費(千円)			2022年度に 7,687千円	内部事務事業	【主な指標等(H29実績) 8,533千円】				
35						□ 検討			効果額 (千円)	(H29年度一当該年度)支所管理事業費									
36					庁舎管理事業費の見直し	■ 実施	庁舎管理事業費の適正化及び効率化を図るため、ダイヤルインの活用等による電話交換手の勤務体制の見直しや、来庁者用駐車場の管理適正化(目的外利用者の排除、有料ゲート化、借地の返却等)に取り組みます。	総務課	検討年度	⇒	○				2019年度に 18,703千円	内部事務事業	【主な指標等(H29実績) 36,794千円】		
37						■ 実施			評価										
38					防犯灯のLED化	■ 実施	市内約8,500灯ある防犯灯をLED化します。	総務課	主な 指標等	防犯灯電気料金(千円)			2019年度に 18,703千円	市民サービス事業 (ハードの新技術転換)	【主な指標等(H29実績) 2,073千円】				
37						■ 実施			効果額 (千円)	(H29年度一当該年度)防犯灯電気料金									
38					消防団本部役員研修の見直し	■ 実施	消防団幹部の知識と技術の向上並びに災害時における消防団対応などを学ぶ機会として、先進地や被災地へ管外視察研修を実施しているが、近隣市町村の研修実施状況等を鑑み、毎年実施していた宿泊を伴う管外視察研修を平成30年度以降隔年に見直します。	危機管理課	検討年度						※隔年実施	内部事務事業	【主な指標等(H29実績) 388千円】		
38						■ 実施			評価										
38					避難所用備蓄資機材の見直し	■ 実施	賞味期限の長い備蓄食糧等を購入することにより、経常的なランニングコストを抑えるとともに、事務の効率化を図ります。	危機管理課	主な 指標等	備蓄食糧等購入額(千円)			2019年度に 18,703千円	市民サービス事業 (ハードの新技術転換)	【主な指標等(H29実績) 2,073千円】				
38						■ 実施			効果額 (千円)	(H29年度一当該年度)備蓄食糧等購入額									

No	大No	重点改 革項目	小 No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考		
39	3 ① 事務事 業の見 直し	3 ① 事務事 業の見 直し	各種事務事業に対する民間活力の導入	● 集約	各課が実施した民間活力導入項目(行動計画設定項目を除く、委託・指定管理・PPP等)を集約し、財政効果額(見込み)を算出します。	行財政 改革推 進室	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	検討年度							集約				
40								評価											
41			各種事務事業の見直し	● 集約	各課が実施した事務事業の見直し項目(行動計画設定項目を除く)を集約し、財政効果額(見込み)を算出します。			主な 指標等	新たな民間活力導入項目件数(件)										
43								効果額 (千円)	(新規民活導入前年度-当該年度)関連事業費										
46			効果的な行財政改革 推進手法の検討	□ 検討	現在実施している執行目標や事務事業評価(行政評価)も含め、より実効性の高い効率的な行財政改革手法を検討します。	行財政 改革推 進室	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	検討年度	⇒	○					内部事務事業	※行財政改革推進委員会による、新たな外部評価手法の検討・実施を含む。			
47								評価											
48			「環境の森センター・きづかわ」稼働等に伴う廃棄物収集運搬処理経費の見直し	■ 実施	「環境の森センター・きづかわ」稼働等に伴い、民間処理施設利用の低減や分別区分の変更による収集運搬の効率化を図り経費の見直しに取り組みます。	まち美化 推進課		主な 指標等	ごみ処理事業費(千円)						市民サービス事業 (ハードの新技術転換)	【主な指標等(H29実績)】 1,073,152千円 ※H30効果額見込(80,405千円)			
49								効果額 (千円)	(H29年度-当該年度)ごみ処理事業費										
50			道路照明のLED化	□ 検討	道路照明のLED化を実施し、電気代の削減を図ります。	管理課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	検討年度	○					市民サービス事業 (ハードの新技術転換)					
51								評価											
47			道路台帳更新時期の見直し	■ 実施	現在、毎年度更新している道路台帳について、特別な事情のない限り、平成31(2019)年度から更新の隔年化を実施します。	管理課		主な 指標等	道路台帳更新回数(回)					※隔年実施 内部事務事業					
48								効果額 (千円)	隔年実施による削減額										
49			チャレンジ学習事業の廃止	■ 実施	中学生を対象に補修学習を実施し、英語検定・漢字検定・数学検定の各種検定に取り組む事業であったが、学校の先生による対応で、平成28、29年度事業実績がなかったことから、平成30年度から廃止します。	学校教 育課	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	検討年度						市民サービス事業 (廃止等決定)	※H30効果額見込(150千円)				
50								評価											
51			市立小中学校管理経費の削減	■ 実施	市全体で進めている行財政改革、内部管理経費の削減について、学校においても同様の危機感をもって臨まなければならぬ。教育振興事業費については、子どもたちの学力向上や心の支援等継続が必要な事業が多々ある中で、管理経費について教職員等の意識改革と工夫・努力により削減を行います。	学校教 育課		主な 指標等	財政効果額(千円)						内部事務事業	※H30効果額見込(3,204千円)			
52								効果額 (千円)	(H29年度-当該年度)小中学校管理経費【削減対策時】										
53			業務委託、印刷製本及び負担金等の見直し(幼稚園事業費)	■ 実施	園の業務で業者委託となっている内容を見直し、園内で対応することで、委託等の経費の削減を図ります。	学校教 育課(各 幼稚園)	検討年度 評価 主な 指標等 効果額 (千円)	検討年度						内部事務事業	※H30効果額見込(90千円)				
54								評価											
55			移動図書館の廃止	□ 検討	図書館運営のあり方を見直し、移動図書館車の平成30年度末廃止に向けた検討を進めます。	社会教 育課		主な 指標等	財政効果額(千円)						市民サービス事業 (廃止等決定)	※H30年第3回(9月)市議会で関係条例の一部改正可決。 ⇒H31.3.31で廃止。(車両更新等含め約30,015千円削減見込)			
56								効果額 (千円)	(H29年度-当該年度)関連事業費										

■第3次行財政改革行動計画項目一覧(外部評価絞り込み用)

No	大No	重点改 革項目	小 No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考	
54		事務事 業の見 直し	①事務事 業の見 直し	文化財整理保管セン タ管理委託の見直 し	□ 検討	文化財整理保管センターと文化財整理保管センター分室(くにのみや学習館)の維持管理については、それぞれ、南加茂台シルバークラブと瓶原まちづくり協議会に委託しています。この内、文化財整理保管センターについては、利用者が減少していることから、文化財保護課が直接維持管理することを検討します。		文化財 保護課	検討年度	○						内部事務事業		
55	3					監査委員の役割は、事務の誤りを監視するだけではなく、市の行財政運営を検証し、最小の経費で最大の効果が発揮できているかどうかを視点に監査を行い、もって行財政改革に貢献することです。監査委員事務局は監査委員の指揮の下、木津川市の事務事業の効果的・効率的な監査を実施し、課題が認められた場合は、関係部署と課題解決に向けた建議を実施します。			評価									
56				会議録印刷製本の見 直し	■ 実施	議会本会議(定例会及び臨時会)における会議録を、今まで議員全員(22名)に配布していたが、各会派(6会派)への配布に変更し、印刷製本費の削減に取り組みます。		議会事 務局	検討年度						内部事務事業	※H30効果額見込(528千円)		
69		公共施 設の総 合管理	①公共施 設のマネ ジメント	市営住宅の長寿命化 計画の策定・実施	■ 実施	計画修繕として、修繕周期を踏まえて定期的な点検を行い、適切な時期に予防保全的な修繕を行うことで、居住性・安全性等の維持・向上を図り、市営住宅の効用を維持し、長期的に活用するとともに、質の向上のための個別改善を行います。また、空家の市営住宅については、できるだけ速やかに解体・用途廃止を行います。		施設整 備課	評価						※毎年度1件 (戸)解体	市民サービス事業 ※関係計画あり	※関係計画 ・木津川市営住宅ストック総合活用(長寿命化)計画(H25.3策定、H29.3(第1回見直し))	
70	4			道路・橋梁の長寿命 化計画の更新と推進	■ 実施	現在の「道路舗装修繕計画」並びに「橋梁長寿命化計画」を更新し、計画どおりの修繕を推進します。			効果額 (千円)	(H29年度一当該年度)管理戸数×1戸当たり修繕費							【主な指標等(H29実績)】 1橋 ※関係計画 ・木津川市橋梁長寿命化修繕計画(H25.3、H26.3策定)	
71			②公共施 設の民 営化、民 間委託	指定管理者評価制度 の推進	● 集約	「指定管理者制度の採用と指定に関する指針」に基づくモニタリング調査や利用者アンケート等の状況と、業務改善指示への対応等を確認しながら、制度の推進を図ります。		行財 政改革推 進室	評価	改善事業の実施回数(回)					集約	市民サービス事業 ※関係計画あり		
72				市立保育園の民営化 等の推進	■ 実施	木津川市公立保育所民営化等実施計画に基づく、1期計画の民営化等を実施します(兜台保育園・木津川台保育園・相楽台保育園・木津保育園分園・やましろ保育園分園)。また、2021年度に1期の検証を行います。			効果額 (千円)	(H29年度一当該年度)対象保育所運営事業費(経常経費)一般財源額(千円)					2021年度に 53,821千円	市民サービス事業 ※関係計画あり	【主な指標等(H29実績)】 289,114千円 ※関係計画 ・木津川市公立保育所民営化等実施計画(H29.6策定)	
80		行財政 シス テムの確 立	①歳入の 確保と歳 出の抑 制	有料広告等による自 主財源の確保	● 集約	各課が実施した有料広告等の取り組み(行動計画設定項目を除く)を集約し、財政効果額(見込み)を算出します。		行財 政改革推 進室	評価	新規有料広告導入件数(件)					集約			
81	5			ごみ有料化による更 なるごみ減量・リサ イクル施策の推進	■ 実施	ごみ有料化の実施により、市民がごみ減量に関心を持ち、経済的インセンティブの働きにより3Rの推進、ごみの発生抑制などごみ減量に向けた実践行動を促します。また、ごみ有料化で得られた収入の一部をごみ減量・リサイクル施策に活用することで更なるごみの減量、リサイクル施策の推進に取り組みます。			効果額 (千円)	当該年度の有料広告収入額					2022年度に 339g/人・日	歳入増加対策事業 (基金条例制定) ※審議会等あり	【主な指標等(H29実績)】 434g/人・日 ※関係審議会等 ・木津川市廃棄物減量等推進審議会	
82			②	庁舎等の省エネ対策 の推進	■ 実施	「木津川市地球温暖化対策実行計画(事務事業編2018年度策定予定)」に基づき、各種の省エネ対策を推進します。そのため、定期的な周知、職員研修の実施、状況の集約・公表等に取り組みます。		まち美化 推進課	評価	温室効果ガス総排出量削減率[2013年度比](%)					内部事務事業 ※関係計画あり	※関係計画 ・木津川市地球温暖化対策実行計画(事務事業編H30策定予定)		

No	大No	重点改 革項目	小 No	小項目	行動計画項目	区分	行動計画項目内容	所管 部局		H30 2018	H31 2019	2020	2021	2022	目標 (主な指標等)	種別	備考	
88	5 行財政 システムの確 立	② 入札・契 約制度 の適正 運用	● 集約	入札・契約制度の適正運用			入札・契約業務について競争性を確保しつつ、透明・公正・公平性及び効率性を高めるため、より適正での確な入札・契約制度への改正を推進します。そのため、電子入札制度の導入や入札・契約の過程等の公表にも積極的に取り組みます。	指導検 査課	検討年度							集約		
89									評価									
90		③ 未利用、 低利用 資産の 有効活 用	■ 実施	加茂プール跡地の利 活用			平成30年度に、加茂プール跡地利用の促進を図るための測量を行います。	社会教 育課	主な 指標等	電子入札実施回数(回)						市民サービス事業 (廃止等決定)		
91									効果額 (千円)									
92			④ 予算編 成の改 革	■ 実施	予算編成の改革		各年度の当初予算要求にあたり、義務的経費を除く経常一般財源所要額に関して、各部局ごとに予算要求枠を配分します。あわせて、普通建設事業費などの臨時の経費についても収入見込みを勘案して一般財源を配分し、予算総額に対する一般財源所要額の目標を掲げます。	財政課	検討年度							内部事務事業	【主な指標等(H29実績)】 18,813,722千円	
93		⑤ 地方公 営企業 会計、特 別会計 等の見 直し (ア)地 方公 営企 業の改 革		□ 検討	一部事務組合の改革 (相楽郡広域事務組合)		相楽郡広域事務組合の効率化等について、木津川市としての取り組みや中長期的な方向性を整理します。	学研企 画課	評価							一部事務組合事業		
94									主な 指標等	翌年度当初予算における一般財源所要額(千円)								
98		(イ)特 別会計の 見直し (ウ)一 部事務 組合の 改革	□ 検討	一部事務組合の改革 (相楽中部消防組合)		相楽中部消防組合の効率化等について、木津川市としての取り組みや中長期的な方向性、老朽化した消防庁舎の移転等も含め、検討します。	危機管 理課	効果額 (千円)							一部事務組合事業			
100								検討年度	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
									評価									
									主な 指標等									
									効果額 (千円)									
									検討年度	⇒	⇒	○			一部事務組合事業			
									評価									
									主な 指標等									
									効果額 (千円)									
									検討年度	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	一部事務組合事業			
									評価									
									主な 指標等									
									効果額 (千円)									

(案・例)

●年度「第3次行財政改革行動計画」外部評価調査票

項目No 項目名 項目内容	1 市民協働の推進 市民、コミュニティ組織、NPO、企業等との連携・協働手法を調査・研究します。また、市民提案型事業支援制度である「ふるさと応援事業補助金」は、平成31（2019）年度に終了することから、市民参加に関する支援手法等を検討します。		
項目設定年度／区分	H30 設定／■実施	所管部局	マチオモイ部 学研企画課

【評価・財政効果等の動き】

	H30	H31	2020	2021	2022
検討年度					
評価	S：特に良好に進捗 A：良好に進捗 B：概ね進捗 C：進捗に課題あり				
主な指標等	ふるさと応援事業活動団体数（者・団体）				
効果額（千円）	(H29 年度一当該年度) ふるさと応援事業補助金額				
目標					

【取組み実績・特記事項】

H30	
H31	
2020	
2021	
2022	

(案・例)

【調査事項①】

○本年度（前年度実績）の評価（S・A・B・C）を判断した主な理由

○昨年度までの取組実績を踏まえた、本年度以降の取組み方針

※評価 C の場合のみ記載

○今後（見直し後）の具体的な事業スケジュール

【調査事項②】

○有効性（項目内容を達成できたか。その内容は有効であるか。）

○効率性（費用対効果は。）

※項目達成による財政効果や事務負担の軽減と、見直し後の将来的な見通しなどを踏まえて記載。

○市民満足度（「結果（内容）」は市民にとって望ましいものか。）

○適切なプロセス（手順等は適切であったか。）

※検討開始～項目達成までの主な手続きを時系列（箇条書き）に記載。

(案・例)

●年度「第3次行財政改革行動計画」外部評価シート

(●年●月●日 ヒアリング実施)

項目 No	1 市民協働の推進		
項目名	市民、コミュニティ組織、NPO、企業等との連携・協働手法を調査・研究します。また、市民提案型事業支援制度である「ふるさと応援事業補助金」は、平成31（2019）年度に終了することから、市民参加に関する支援手法等を検討します。		
項目内容			
●年度市評価／区分	A ／ ■実施	所管部局	マチオモイ部 学研企画課

【4つの視点に対する評価】(○：適当、△：改善の余地あり、×：要改善)

○有効性（項目内容を達成できたか。その内容は有効であるか。）	
(評価)	(意見等)
○効率性（費用対効果は。）	
(評価)	(意見等)
○市民満足度（「結果（内容）」は市民にとって望ましいものか。）	
(評価)	(意見等)
○適切なプロセス（手順等は適切であったか。）	
(評価)	(意見等)

(案・例)

【達成状況（結果）等に対する評価】(○：適當、△：やや不十分、×：不十分)

主な指標等	ふるさと応援事業活動団体数
(評価)	(意見等)
効果額	(H29 年度一当該年度) ふるさと応援事業補助金額
(評価)	(意見等)
取組実績等	
(評価)	(意見等)
その他	
(評価)	(意見等)

【評価まとめ（市の評価に対して）】(◎：上評価、○：適當、×：下評価)

<市評価内容：S（特に良好に進捗）、A（良好に進捗）、B（概ね進捗）、C（進捗に課題あり）>

外部評価結果	
(評価)	(意見等)

【中間報告等の必要性（いずれかに○）】 あり • なし

平成 30 年度行財政改革推進委員会スケジュール(案)

日時	会議	主な審議案件等
平成 30 年 8 月 3 日 (金) 午後 2 時～	第 1 回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 次木津川市行財政改革行動計画の進捗状況について（報告） ・第 3 次木津川市行財政改革行動計画（素案）について（審議） ・委員会活動に係る検討について①（審議）
10 月 10 日 (水) 午後 2 時～	第 2 回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 次木津川市行財政改革行動計画について（報告） ・委員会活動に係る検討について②（審議）
【本日】 11 月 15 日 (木) 午後 2 時～	第 3 回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動に係る検討について③（審議）
平成 31 年 1 月中旬～	第 4 回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな委員会活動の実施。（予定）

以 上